

終活

元気な今だから考える
グラフで見る

「新型コロナウイルスに関する意識調査」

―コロナ終息後に、高齢者が一番したいことは旅行・友人との再会―

北九州市内で新型コロナウイルス感染者が発生してから間もなく1年が経ちます。本誌編集部では昨秋、市内の高齢者がコロナ禍のステイホームでどのような生活習慣を余儀なくされたか、終息後に一番したいことは？―などについて緊急調査を実施しました。



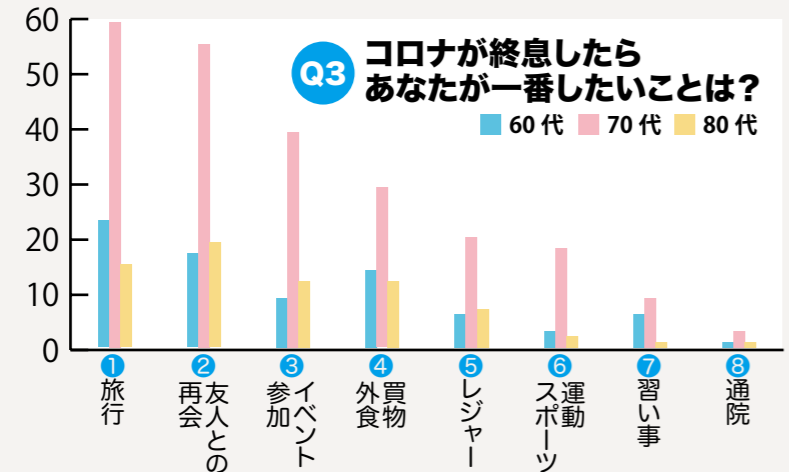
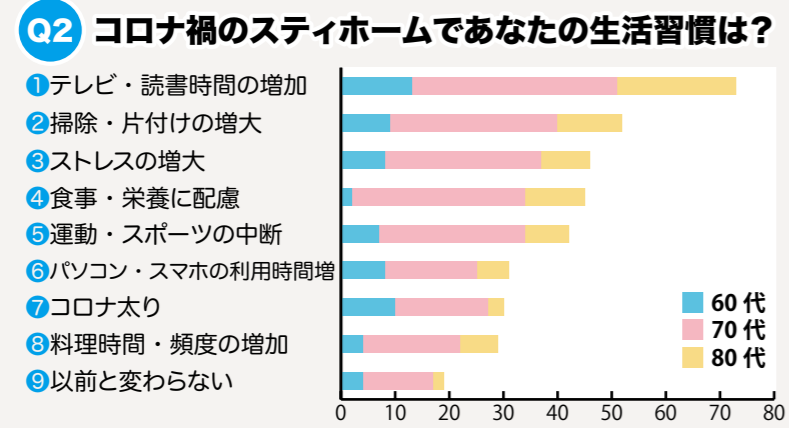
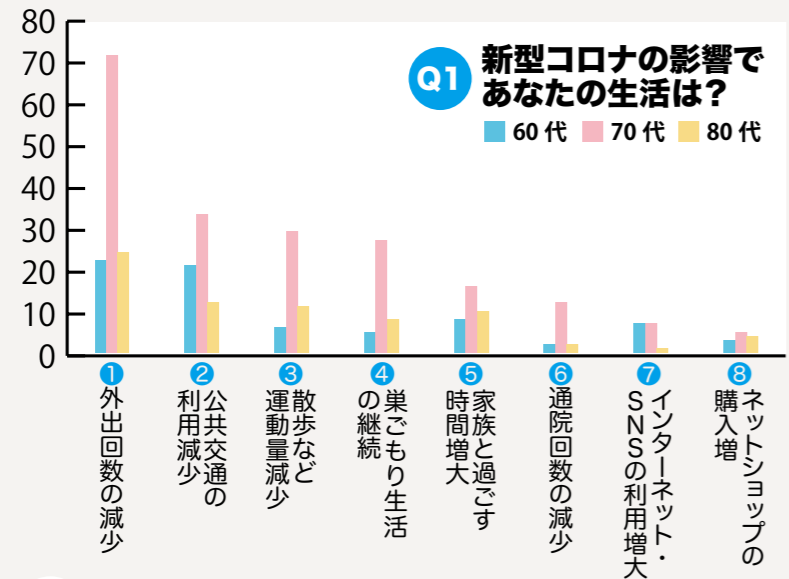
本調査は昨年10月10日から1ヶ月間、市内に住む60歳以上の高齢者157名（本誌読者、市民センター・公民館のクラブ活動参加者、スポーツクラブ会員、自治会・老人会・社会福祉協議会の役員など）を対象に実施しました。

前回は①日常生活での新型コロナ対策 ②Go Toキャンペーン参加の有無 ③コロナ禍での冬の懸念材料―などについてとりあげました。

新型コロナの影響であなたの生活は？

市内で昨年3月1日に、新型コロナウイルス感染者が発見されてから1年が経過します。長引く新型コロナの影響で高齢者の日常生活はどのような影響を受けたのでしょうか？

60代、70代、80代の各年代とも第1波・2波の感染拡大を回避するため①



コロナ禍のステイホームであなたの生活習慣は？

コロナ禍のステイホームで「TV・読書時間が増えた」が各年代ともトップを占めました。2位には「掃除・片付けの増大」、3位に「ストレスの増大」が続きましたが、年代別では下表のと

順位	60代	70代	80代
1	TV・読書時間の増大	TV・読書時間の増大	TV・読書時間の増大
2	コロナ太り	食事・栄養に配慮	掃除・片付けの増大
3	掃除・片付けの増大	掃除・片付けの増大	食事・栄養に配慮
4	ストレスの増大	ストレスの増大	ストレスの増大
5	PC・スマホの利用時間増	家族と過ごす時間増	運動・スポーツの中断

コロナが終息したらあなたがしたいことは？

昨年末から世界各国で新型コロナウイルスの接種が始まりました。我が国では2月下旬から医療従事者、3月下旬には高齢者などの接種がスタートします。そこで、コロナが終息したら先ず一番にしたいことは①旅行②友人との再会

―と6割の人が答えました。また、3割の人（特に女性層）がイベント・レジャーへの参加や買物・外食に期待を寄せていることも明らかとなりました。しかし、専門家は「国民の7割に集団免疫ができない限りコロナは終息しない」と発言していることを考えると2〜3年はかかるのでしょうか？

シニアスタッフ上田篤彦

